

事件を捏造した特捜検察／「郵便不正」冤罪と報道検証

「人権と報道・連絡会」は、『週刊朝日』誌上でこの冤罪を追及し、9月に『私は無実です——検察と闘った厚労省官僚 村木厚子の445日』（朝日新聞出版）を出した今西憲之さんと大貫聡子さんを、2010年18日の定例会に招き、検察が事件を捏造し、それにあわせて関係者に虚偽自白させた手口、そのリークで村木さんを犯人視した報道の問題点などについて討論されました。冒頭、事務局長の山際永三さんは、「この事件は大阪地検だけの問題ではなく、氷山の一角」として、逮捕当時の新聞記事を紹介。報告に続いて、質疑応答が行われました。

（ゆき注：事件関係者の一部は、連絡会ニュース事務局のご判断により匿名になっています）

今西憲之さんの報告

◆検察が空想で「作った」事件

今、前田恒彦主任検事のフロッピーディスク改ざん問題が浮上して、村木さんの無罪判決については報道が減り、ハッピーエンドみたいになっています。

村木さんの事件は、全く何も無いものを検察が作った事件です。唯一あるのは、U係長が「大したことではない」と村木さんの印鑑を勝手に押して証明書を作り、それを「凜の会」が郵便局に持ち込んだという部分です。

Uは公判で、村木さんの印鑑を使ったことについて「誰もいない時に簡単に押せる」と言っています。「大臣の印鑑も押したことがある」と。

検察は、この大臣印の供述調書を、U係長を脅す材料にした。「村木から頼まれたと言え」と。それが出発点です。Uが村木さんの指示を認めなければ事件にはならなかった。

検察は「大臣印には目をつぶるから、こちらを認めろ」と取り引きした。厚労省が印鑑の管理をきちんとしていれば、こんなこともなかったわけです。

検察は、Uの調書以外何も無い、ゼロから事件を作った。U調書は裁判所が不採用にしたのですが、そこには村木さんとの詳細なやりとりがある。全部、空想で作ったものです。他の関係者も同じです。「凜の会」のK会長が、取り調べの副検事に「あなたはシナリオライターですか」と聞くと、副検事は「裁判員裁判で素人にわからせるには、会話体がいい」と答えたそうです。1の話を100にする。大半の人がそんな調書を取られた。

当時の村木さんの上司で、石井一議員の口利きを受けたとされたS部長。この人も、口利きの覚えがないのに、「石井議員から頼まれて村木に頼んだ」という調書を取られ、全くない会話があったようになっています。

◆FD改ざん関与は3人だけか

朝日新聞が9月21日にスクープしたFD改ざんの話は、大阪地検では少し前から出ていました。

ただ、前田検事は将来の特捜部長の呼び声が高く、いくら何でも証拠改ざんまではとわれていた。

FDは証明書偽造でいちばん大きな物証のはずなのに、不思議なことに検察は触れない。U係長は最初に逮捕された時の容疑、「稟議書」偽造については、どんな修正液で消したのかまで詳細に供述しています。なのに、証明書の偽造データが入っていたFDについては調書がない。正確な日付もなく「6月上旬」とされていた。

この改ざん問題で責任を問われるべきは前田検事、大坪弘道部長、佐賀元明副部長の3人だけなのか。大坪部長は、地下鉄サリン事件や東京二信組事件、三井環公安部長の事件で、重要な供述を引き出したと言われ、

なるべくして特捜部長になった人です。

その大坪がこんな話を自分のところで止めたのかどうか。次席検事にも伝えた可能性があります。大阪高検までからんでいたのではないか。

村木事件には、まだ捜査の裏側に多々問題があります。FD事件は検察全体の大問題で、その処理には検察幹部の保身、リークの問題もある。21日に大坪、佐賀が起訴されれば報道は少なくなってくると思いますが、週刊朝日はずっとフォローしていきたいと思っているので、長い目で見ていてほしいと思います。

今西さんはいったん報告を終え、続いて大貫さんが話した。

大貫聡子さんの報告

◆脅迫で取った供述調書

私は村木さんの関係者取材を中心に、裁判を取材してきました。

昨年6月に逮捕された時は、新聞を見て有罪だろうと思ったのですが、障害者団体など村木さんの仕事の関係者を取材すると、「決してこういう犯罪をやる人じゃない」と言う人がたくさんいた。それを聞いて、もしかしたら、と思い始めました。

逮捕された人がみんな容疑を認めている中で、村木さんだけは認めなかった。たった2畳の狭い部屋に146日間も勾留されて、それでも認めなかった。

公判で印象的だったのは、U係長が泣きながら「つらかった。脅されて調書にサインさせられた。どうしても外に出たくて認めた」と証言した時のことです。

Uさんは逮捕後の勾留質問の時、容疑について「自信がない」というようなことを言い、あとで検事に反省文を書かされた。それを聞いてほんとうに怒りが募りました。気の弱い人を脅し、言うことを聞かせて村木さんを冤罪に陥れる。このことは世に問わなきゃと思いました。

事実よりメンツの大阪地検 リーク垂れ流し報道の謝罪を

質疑と討論

◆記者はリークで記事を書くトラクなんです

〈山際永三事務局長〉前田検事が改ざんしたFDを返却した理由は？

〈今西〉FDの更新日を6月1日から8日に改ざんした。それを返却したのは、Uの弁護士が法廷に出してくればと考えたという「時限爆弾」説がありますが、あまり説得力がない。今回の「改ざん情報」は、U係長の調書を作った国井弘樹検事が女性検事をたきつけて出したと見る人が多いのですが、内部にドロドロしたものがあつたようです。

〈山際〉逮捕当時、村木さんは「障害者自立支援法を成立させるためにやった」と報道されましたが、法案が出てくるのはもっと後。それにマスコミは疑問を持たなかったのでしょうか。

〈今西〉証明書を出した時期、法案は影も形もなかったのに、検察リークに乗って垂れ流した。ちょっと取材すればわかることです。

今も最高検のリークをそのまま流している。記者はリークで記事を書くとかくなんです。デスクも説得できるし、訴えられることもない。僕も検察情報を書きますが、少なくとも弁護側の反論も同等に書きます。

◆謎残るFD改さんの意図

〈参加者〉FDを返却した意味が理解できないのですが。

〈今西〉推測ですが、FDを戻した時、前田検事は、U係長が公判で調書を否定するとは想定していなかったのではないかと。ばれないだろうと安易に返したのかもしれませんが。強引なことをやる検事で、「特捜の調書が真実だ」というタイプの人です。

〈参加者〉検察の内規では官僚を逮捕する時は上級組織に相談することになっているのでは？

〈今西〉特捜事件の着手・逮捕は地検から最高検までの決済が必要です。着手報告は、大阪高検のトップまで見る。村木さんの件は最高検も見ているはず。その最高検が今、大坪部長を悪人に仕立て、記者を集めてリークしている。

三井環事件（検察の裏金告発寸前に、逮捕）で暴力団関係者の供述を取ったのが大坪部長。その経緯をしゃべらないかと期待しています。

大坪は最高検のストーリーには乗らないと言っているそうです。自分がストーリーを作ってきたことの裏返し。大坪・佐賀には公判で本当のところを明かしてほしい。

三井さんは、逮捕されて検察の内部事情や死刑執行の問題などを初めてしゃべってくれた。大坪部長もいろんなことを教えてくれたら、と思います。

◆メンツから村木さん逮捕

〈参加者〉検察はなぜ村木さんを狙ったのか。事件と関係ないのはわかっていたはずなのに。

〈今西〉郵便不正事件の捜査の過程で、ある国会議員の名刺が出てきた。それで調書を取り、「政治家をやれる」と考えた。しかし、他の供述を取れなかったため、その件はつぶれた。大阪地検のメンツ丸つぶれです。

それでも大坪部長たちは議員をやりたい。そこに石井議員の名前が出てきた。しかし、議員に金が流れた形跡がない。「石井の口利き」も立件できない。村木さんの上司のS部長も「偽の証明書」のことは知らないという。次は村木さんしかない。U係長だけではメンツが立たない。結局、大阪地検特捜部のメンツの問題だった。

それで「厚労省の星をやる」とリークした。

〈参加者〉この冤罪事件は、特別公務員職権乱用罪に当たるはずですが、そういう指摘は？

◆無実を知っていて求刑した職権乱用罪だと思う

〈今西〉最高検の会見でそういう質問が出ましたが、最高検は「それには当たらない」と答えました。僕は職権乱用罪だと思う。FDで村木さんの無実を知っていて求刑したのですから。

〈参加者〉佐賀副部長が、取り調べ可視化を求めたそうですが。

〈今西〉マスコミは今、逮捕された3人の報道しかしない。可視化のことなど関心がない。

村木裁判では、検察官が作った調書の特信性（調書の方が法廷証言より信用できる特別な事情があるか）が問われました。それで、調書の証拠採用が却下された。しかし、この問題はメディアには出ません。記者が今、その問題を書いても紙面に載らない。

デスクは3人の調べがどうか、ばかり聞く。記者は村木裁判が提起した問題より、進行中のことを書くので精一杯。それがマスコミの現状です。可視化は絶対必要だと思います。ある裁判官は、可視化すれば有罪率は7割に減ると言っていました。

◆主任検事がストーリーを作り、部長・副部長が色づけして記者へのリーク

〈参加者〉証拠の全面開示と記者へのリークの問題について、現状はどうなっているのですか。

〈今西〉証拠は、検察に都合のいいものしか出てきません。調書を作る際の取り調べメモも開示されないの、最後の調書しかわからない。記者へのリークは、ほぼ一本化しています。主任検事がストーリーを作り、部長・副部長が色づけして流す。

〈参加者〉村木さんは国賠などをやる可能性はありますか。

〈今西〉これ以上、仕事を邪魔されたくないというのがホンネだと思います。最高検がやるといっている事件検証を見究めようとしているかもしれません。

〈参加者〉U係長は、なぜ証明書を偽造したのですか。

〈今西〉彼の性格もあると思いますが、申請を突き返すのもイヤだし、仕事が遅いと思われるのもイヤ。じゃ、作ればいい、ということで、軽い気持ちで証明書を作った。

「凜の会」は、「実態のない自称障害者団体」と報道されましたが、障害者支援の活動はしていました。それを悪用したのは、後で出来た「白山会」の方です。彼らが郵便代金の差額で儲けた。郵便局がしっかりしていれば、こんな事件にならなかったとも思います。

〈参加者〉大坪・佐賀の2人は最高検に抵抗しているようですが、検察の一枚岩が崩れているのか、今回の問題は検察の内部崩壊につながるのでしょうか。

〈今西〉2人が認めれば逮捕しない方針だったようです。大阪のヤメ検グループは認めろと言っていた。2人が否認を続けられるかどうか。認めた前田にはヤメ検（弁護士）がつかしました。

◆言い訳じみた報道検証

〈参加者〉逮捕当時に村木さんを犯人扱いしたマスコミは、その責任をとったのか、報道の自己検証の動きはありますか。

〈今西〉無罪判決後、各社が一応、検証記事のようなものを出しましたが、みんな「バランスをとりました」という言い訳じみたものです。どう見ても村木さんを悪人にした報道だったのに。

マスコミは「我々は検察にだまされました」と書くべきです。自分たちがいかに検察リークに乗ったか、それを明らかにして、村木さんへの謝罪記事を書くべきだと思います。

〈参加者〉 大阪地裁の訴訟指揮はどうだったのですか。

〈今西〉 横田信之裁判長は刑事裁判のキャリアが長い人で、ほかにも無罪判決を出しています。今回の裁判では、事件の真相解明に大きな役割を果たしました。証人尋問でも検事より長く、時には1時間以上も質問したりした。裁判長は検察を信用していないな、と思いました。ああいう裁判官はなかなかいません。

判決は完全無罪です。この事件は、「石井議員の口利き」が入り、「偽証明書の発行」が出口ですが、判決は「口利きはなかった」つまり事件の入り口がなかった、とはっきり書いた。証明書はU係長が勝手に作ったと。事件はなかった、という判決でした。